

アクサ世界株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第6期（決算日 2024年10月16日）

作成対象期間（2024年4月17日～2024年10月16日）

第6期末（2024年10月16日）	
基準価額	13,136円
純資産総額	56百万円
第6期 (2024年4月17日～2024年10月16日)	
騰落率	7.7%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ世界株式ファンド」（以下、「当ファンド」といいます。）は、このたび第6期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の株式に投資することにより信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド情報」、「ファンドの各種資料等」から、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を閲覧およびダウンロードすることができます。

○「運用報告書（全体版）」は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

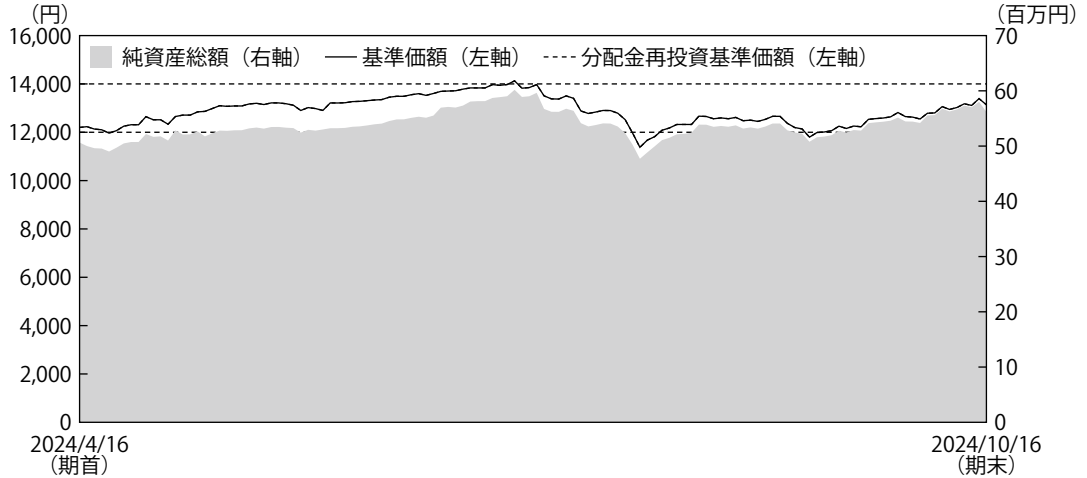
アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

運用経過

■基準価額等の推移について

(2024年4月17日～2024年10月16日)



期首：12,200円

期末：13,136円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 7.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

当期は、主として保有している株式の株価が上昇したことがプラスに寄与して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

(2024年4月17日～2024年10月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.425%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は12,871円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.331)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.083)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
そ の 他 費 用	6	0.050	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(6)	(0.050)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	61	0.474	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

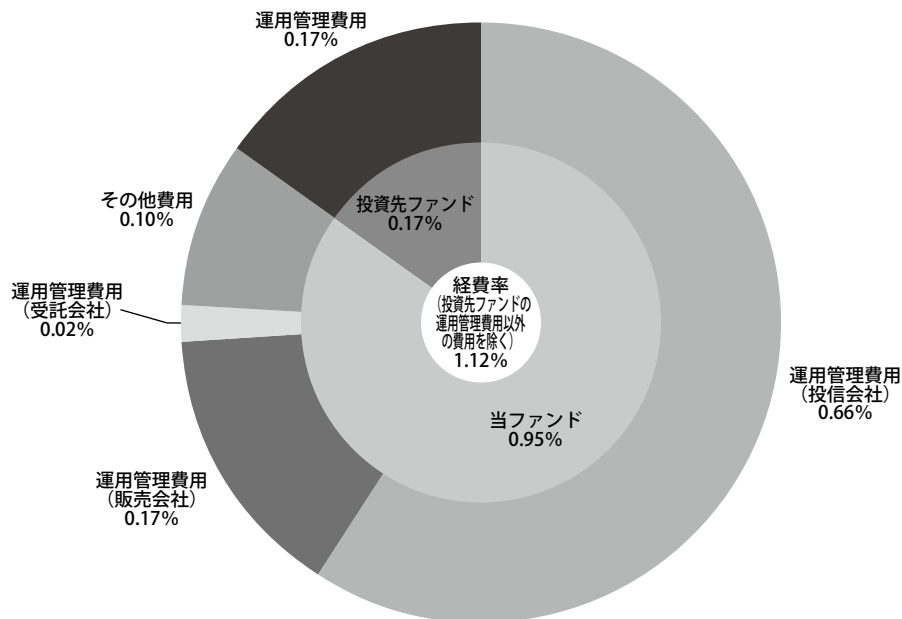
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、ファンドが組み入れている「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ（Mシェアクラス）」が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.12%です。

経費率 (①+②)	1.12%
①当ファンドの費用の比率	0.95%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）」です。

(注5) ①の費用は、「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った費用を含み、「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）」が支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）」には運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年10月29日～2024年10月16日)



決算日		2021年10月29日 設定日	2022年10月17日 決算日	2023年10月16日 決算日	2024年10月16日 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,040	10,089	13,136
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△9.6	11.6	30.2
純資産総額	(百万円)	5	21	33	56

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■投資環境について

当期のグローバル株式市場は、米国の底堅い需要やインフレ鈍化とそれに続く中央銀行の金融緩和を背景に上昇しました。

株式市場は、インフレ指標や中央銀行の政策に対して敏感に反応し続けました。好調な企業利益と堅調な雇用統計は待望の「軟着陸」に経済が向かっていることを示唆しています。労働市場と消費は金融引き締めにもかかわらず予想外に底堅く推移しましたが、これは、パンデミック期間中に多額の企業債務や住宅ローンが超低金利で固定された結果、短期的な金利上昇への米国経済の感応度が低下したためと考えられます。

家電や自動車などの一部の分野では、リターンがプラスだったものの、パンデミック直後に積み上がった在庫の解消がまだ続きました。この6か月の間に金利の低下が始まりましたが、金融引き締め策によって新築住宅などの建設セクターも引き続き圧迫されました。

中国からの需要も顕著に低迷しました。低い経済成長と住宅市場の構造的問題が広範な財とサービスの需要を悪化させたためです。この点は、中国の顧客に売上の伸びを依存しているグローバル消費財企業などにとって悪材料となりました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

○当ファンド

当期を通じて、主要投資対象ファンドである外国投資信託証券「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンド（Mシェアクラス）」を高位に、国内籍投資信託「アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を低位に組入れた運用を行ないました。各投資対象ファンドにおける運用経過は以下のとおりです。

○アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンド（Mシェアクラス）

当ファンドの当期のパフォーマンスは、主にテクノロジーや資本財セクターの銘柄選択が影響し、MSCIオール・カンントリー・ワールド指数に代表されるグローバル株式市場全体のパフォーマンスを下回りました。

当期間中、最も大きくパフォーマンスにマイナス寄与したのは「自動化」分野で、自動車業界や家電業界からの需要が引き続き低迷したことが影響しました。同分野では、オランダの半導体製造装置メーカーASML HOLDINGのパフォーマンスが最もマイナスリターンとなり現地通貨ベースで27%強下落しました。同社が発表した2024年7－9月期の売上高は市場予想を大幅に下回り、2025年の売上高見通しも予想を下回りました。加えて、中国向け輸出規制を巡る懸念が（市場の）センチメントを下押ししました。安心材料となったのは、同社が決算説明会でAI関連の需要が依然として堅調だと述べた点です。

「コネクテッド・コンシューマー」分野では、米国の金融情報処理システム会社FISERVが2024年4－6月期と同様に、好調な決算を発表しました。特に、小規模企業向けPOSシステムCloverの売上が前年同期比28%伸びました。今後数四半期の成長は、ブラジルとメキシコで国際的に同サービスを開始することで支えられる可能性が高いとみられます。

「高齢化とライフスタイル」分野では、まちまちの結果となりました。米国の医療機器メーカー

DEXCOMの株価は急落しました。第2四半期の決算が市場予想を下回り、また、経営陣が営業部門の再編と予想を上回る患者リベットの使用により足元の混乱が2024年末まで続く見通しだとしたためです。一方、スイスのアスレチックスポーツ企業ON HOLDINGSはパフォーマンスにプラスに寄与しました。同社のスポーツシューズは引き続き高い需要を引き付けています。

当期は、米国の半導体メーカーADVANCED MICRO DEVICESの株式を新たに組み入れました。当社には好材料が2つあります。一つは当社がサーバーやパソコン用半導体で市場シェアを伸ばしていることで、もう一つは先進的なAI半導体の設計を行っていることです。また、住宅と商業ビルの両方で使用される木材代替デッキの製造で世界トップクラスの米国のTREX COMPANYも新たに組み入れました。当社は、リサイクルされたポリエチレンフィルムと再生木材繊維を使った複合デッキを販売しており、建築資材の循環活用を増やそうとする長期的な動きの恩恵を受けています。短期的には、米国の住宅市場の改善も売上に貢献すると思われる。

一方で、アイルランドの大手食品会社KERRY GROUPの半期決算で明らかになったデフレ環境下での価格圧力に対する懸念から、当社株を5月にすべて売却しました。

○アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

高格付サムライ債をポートフォリオの40-50%程度、高格付国内事業債を20-30%程度保有することによりベンチマークを上回る運用リターンを目指すと同時に、国債、地方債、機構債を20-35%程度保有することにより流動性を確保しております。平均残存年限は6.3か月、加重平均格付けはAフラットとなっております。

■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の基本方針または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

■分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

	第6期
	2024年4月17日～2024年10月16日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,135

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針について

○当ファンド

引き続き、主要投資対象ファンドである外国投資信託証券「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレズ（Mシェアクラス）」を高位に、国内籍投資信託「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行なう方針です。各投資対象ファンドにおける今後の運用方針は以下のとおりです。

○アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレズ（Mシェアクラス）

インフレの鈍化や全般的に比較的良好な世界経済を背景に、企業利益は依然として堅調です。

2024年末に向けての主なイベントは、米大統領選挙と、ホワイトハウスや議会を誰が支配するかによって生じ得る政策面の影響です。保護主義の高まりがグローバルなサプライチェーンを持つ企業に与える影響はまだ不明です。米大統領選挙後の政治的な確実性は設備投資計画を支援するとみられます。米製造業を取り巻く環境は2年近く低迷し、2021年と2022年に成立した様々なインフラ刺激策について割り当てられた予算は、これまで相対的に見てほとんど配分がされてきませんでした。今後、インフラ刺激策の一部が数四半期の間に現れてくるだろうと予想されます。中国についても、最近発表された景気刺激策が市場に歓迎されているようであり、関心を持って状況を見守っています。中国は多くの産業機器メーカーにとって引き続き重要な市場であり、長期にわたる低迷を経て需要が改善すれば、「自動化」分野の企業の多くにとって支援材料となります。

金融政策に関しては、欧米の中央銀行による利下げの継続が引き続き予想され、さらなる利下げは、株式市場や個人消費に追い風となるでしょう。企業レベルでは、人工知能（AI）への支出から得られる収益が、投資家にとって依然と重要な疑問となっており、成長やコスト削減への目に見える効果が2025年にかけて求められるようになります。2021年から2024年の高インフレ期に大幅な値上げを実施した企業が、今後も同じような値上げを実施できる可能性は低いと考えられます。当社は、価格決定力を維持できる高い競争力と構造的な成長の追い風を伴う企業を見つけ出すことに注力しています。

○アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

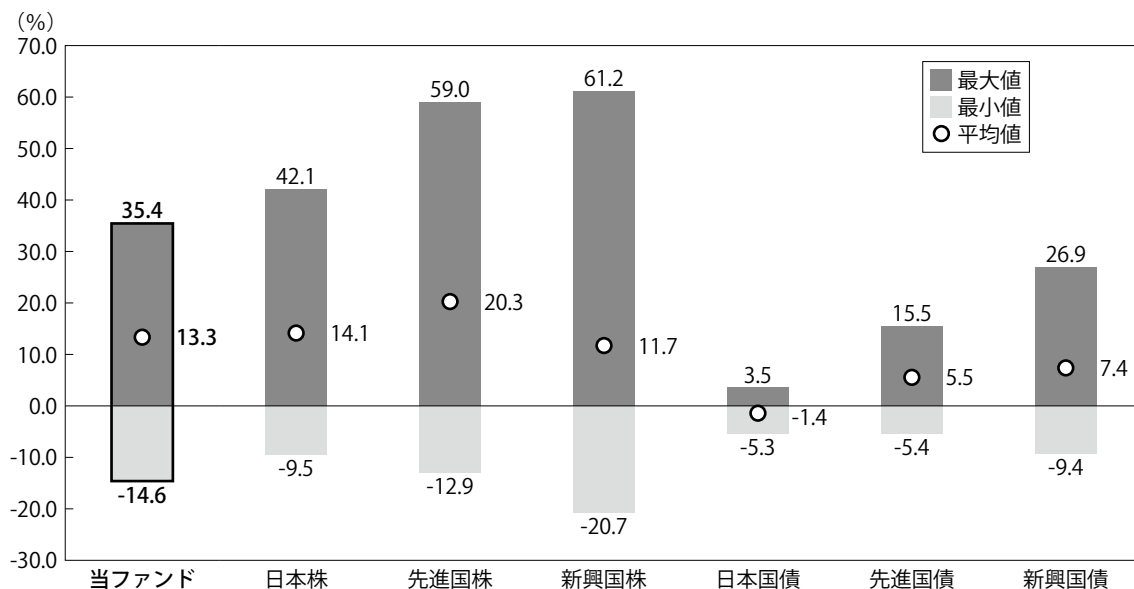
日本銀行による7月の利上げ及び次の追加利上げ観測の高まりにより金利が上昇したため、ファンドの平均残存年限を10.7か月に伸ばしました。資産構成比率については基本的に現状を維持し、運用利回り向上と流動性確保の両立を目指します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限とします。	
運用方針	主として国内外の投資信託証券（以下「投資対象ファンド」ということがあります。）への投資を通じて、世界の上場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
	投資対象ファンド	アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）
		日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
		アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド 円建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	主として国内外の投資対象ファンドへの投資を通じて、世界の上場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
	投資対象ファンド	アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレنز（Mシェアクラス）
		●主として、世界の上場株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ●市場動向によっては、非上場株式および債券等に投資を行う場合があります。
		アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド ●本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行います。 ●日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとし、これを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
組入制限	1 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 2 株式への直接投資は、行いません。 3 外貨建資産への直接投資は、原則として行いません。	
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ② 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2019年10月～2024年9月)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.4	42.1	59.0	61.2	3.5	15.5	26.9
平均値	13.3	14.1	20.3	11.7	△1.4	5.5	7.4
最小値	△14.6	△9.5	△12.9	△20.7	△5.3	△5.4	△9.4

*上記のグラフは、2019年10月から2024年9月の5年間の各月末における1年騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は2024年9月末から60ヶ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは2022年10月から2024年9月の各月末における1年騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ指数 (税引後配当込み、円建て)

新興国株・・・S & P 新興国総合指数 (税引後配当込み、円換算)

日本国債・・・ブルームバーグ日本総合指数

先進国債・・・ブルームバーグ・グローバル国債 (日本を除く) トータル・リターン指数 (円建て)

新興国債・・・JPモルガン EMBI グローバル・ディバースファイド指数 (円換算)

(海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、円で表示しています。ドルベースの指数については、委託会社が円換算しております。)

ファンドデータ

■当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

(組入銘柄数：2銘柄)

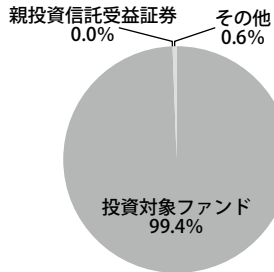
フ ア ン ド 名	第6期末
	2024年10月16日
アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)	99.4%
アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド	0.0
その他	0.6

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

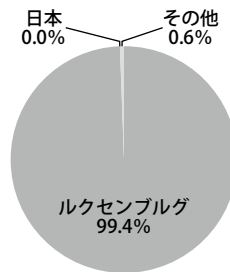
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

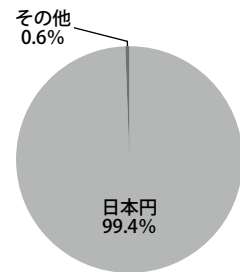
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

■純資産等

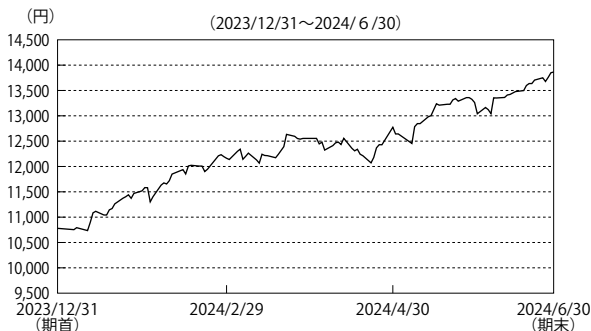
項 目	第6期末
	2024年10月16日
純 資 産 総 額	56,176,393円
受 益 権 総 口 数	42,766,077口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	13,136円

※当期における追加設定元本額は7,333,998円、解約元本額は6,073,643円です。

■組入上位ファンドの概要

アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンド（Mシェアクラス）

【基準価額の推移】



— 基準価額（左軸）

【1万口当たりの費用明細】

1万口当たりの費用明細の取得が困難なため、表示しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2024年6月30日現在)

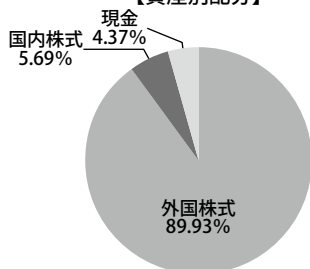
(組入銘柄数：56銘柄)

銘柄名	通貨	比率
1 Alphabet Inc.	米ドル	4.94%
2 Microsoft Corporation	米ドル	4.63%
3 Amazon.com, Inc.	米ドル	3.83%
4 NVIDIA Corporation	米ドル	3.73%
5 Novo Nordisk A/S	デンマーククローネ	2.98%
6 Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	台湾ドル	2.67%
7 ServiceNow, Inc.	米ドル	2.57%
8 Apple Inc.	米ドル	2.28%
9 American Express Company	米ドル	2.23%
10 ASML Holding NV	ユーロ	2.19%

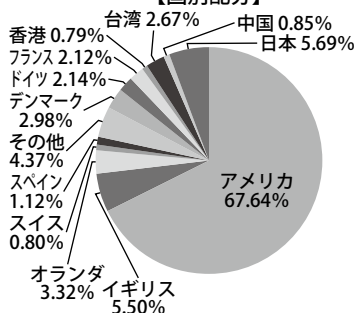
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

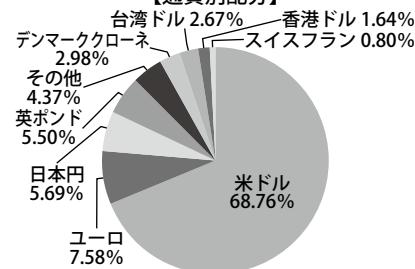
【資産別配分】



【国別配分】



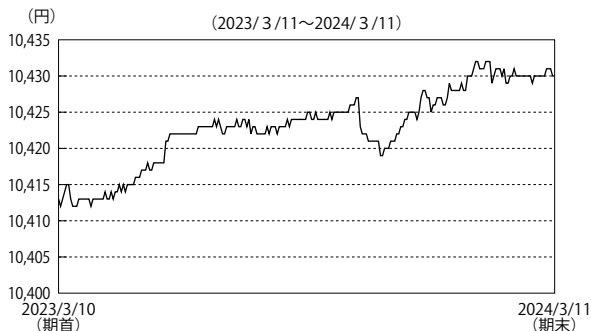
【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

【基準価額の推移】



— 基準価額 (左軸)

【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月11日~2024年3月11日)

	金額	比率
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.002% (0.002)
合計	0	0.002

期中の平均基準価額は、10,423円です。

- (注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

【組入上位10銘柄】

(2024年3月11日現在)

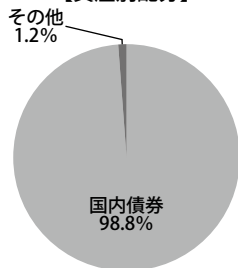
(組入銘柄数：16銘柄)

	銘柄名	通貨	比率
1	442 2年国債	日本円	16.8%
2	10 日本特殊陶業	日本円	7.4%
3	1 新韓銀行	日本円	7.4%
4	12 プリヂストン	日本円	7.4%
5	197 オリックス	日本円	7.4%
6	8 日本電産	日本円	7.4%
7	15 富士フイルムホールデイ	日本円	7.4%
8	1 サンタンデール	日本円	7.4%
9	42 東日本旅客鉄道	日本円	3.8%
10	18 シテイグループ・インク	日本円	3.8%

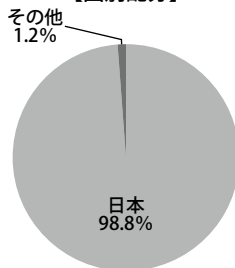
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

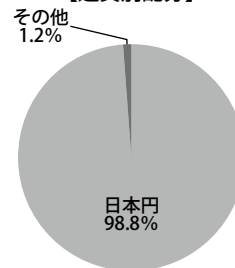
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

●指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社（以下「JPX」といいます。）が所有しています。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数で、MSCI Inc. の知的財産であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、掛かるデータに基づく投資による損失に一切責任は負いません。
- ・S & P新興国総合指数（税引き後配当込み）：S & P新興国総合指数（税引後配当込み）は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスが公表している株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。
- ・ブルームバーグ日本総合指数は、Bloomberg社が公表している指数で、日本の債券で構成される債券指数です。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債（日本を除く）トータル・リターン指数は、Bloomberg社が公表している指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成される債券指数です。「Bloomberg®」およびブルームバーグ日本総合指数とブルームバーグ・グローバル国債（日本を除く）トータル・リターン指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社（以下、当社）による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、アクサ世界株式ファンド（以下、当ファンド）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
- ・JPモルガンEMBIグローバル・ディバーシファイド指数は、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国の債券で構成される指数です。同指数の著作権およびその他知的財産権はすべてはJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

上記指数の円換算ベースは当社が独自に算出したものを採用しています。

お知らせ

当ファンドは、信託契約の解約について、投資信託約款第40条第2項乃至第4項に基づき書面決議を行い、2024年11月28日付で賛成多数で可決されました。繰上償還日は2024年12月19日となります。